



新しい教育システムの構築

クロダインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

教育は、必ず児童の正しい自己の育成と自己の構築を社会参加の能力とともに、教育がこれらを与えなくてはならない。これらは時代性における先端環境とともに、健全な社会と国家を与えることが出来るのである。

これらは第2次世界大戦時に、児童を戦争の道具として要求したことは真実であり、全ての児童が自己の人生と未来を希求することへの正しい環境と学習を提供することは、自己が本来の正しい成長と育成、学習において世界と時代へ参加することを与えなくてはならない。

これらは全ての児童への平等な学習環境と参加、公正な判断と環境における健全性など、教育への正しい判断と合意を要求するものである。

先端性は効率性や学習内容の考査において、時代性と世界基準における自己の成長を提供するものであり、大学教育までの義務化や無償化などは、全ての児童が未来への平等な参加を与える政治のコンセンサスとして提案したい。

これらは自己成長と育成における絶対的な健全性を要求し、時代要求における外国語の完全な取得など、リモート環境などを活用し、児童が教育を終了するまでに、これら能力の育成を全ての児童において提供することが出来るのである。

これらは社会構築への変化を与え、これらは健全な社会と生活という現実を可能と出来るのである。

国家の基盤は、必ず国民なのである。そのため正しい健全な自己育成と優れた教育環境は、未来の国家を行うことなのである。